

【総合政策室長】町外者向けにSNSなどで補助事業の発信を検討します。

▽消防費関係

【植西委員】水利不足などによる消火困難地域はあるか。また、そういった地域への消火体制はどうなっているか。

【消防署長】山間地など水利の乏しい地域は若干あります。今後は当麻、愛別、比布の3町で火災初期段階から互いの水槽車を出動させることになりました。

【八巻委員】消防団員が不足しているが、行政区の役員などから人材の情報を得て、具体的な報酬なども説明しながら勧誘してはどうか。

【消防署長】これまで行っていない方法ですので、検討したいと思えます。

【佐藤(良)委員】公共施設に設置されたAEDの使用にあたっての講習会などは行われているのか。

【総務企画課長】町職員は年1回程度の講習を実施しています。

【消防署長】公共施設以外も依頼があった場合は講習を実施し、令和5年度は254名が受講されました。

▽総括質疑※

【遠藤委員】全国的にマイナンバーカードの加入誘導が行われているが、紙の保険証を残してほしいという声も多くある。町長には国に対しての働きかけをお願いしたい。

【村中町長】当面、マイナンバーカードと紙の保険証は併用されると聞いています。国の制度がある以上、町としても継続していきます。

【佐藤(良)委員】まちづくりを進めていくうえで欠かせないものは人材育成であり、子ども、働き盛り、経験豊富な壮年期、高齢者の知恵を結集した人材育成を推し進めていくべきと思うし、町民全体が同じ方向を向き、行政もワンチームになって進んでいくことが大切と考えるが。

【村中町長】人材育成は最重要課題だと思っています。少し前は異業種の繋がりができる場がありまし



比布消防団出初式

▽教育費関係

【遠藤委員】給食費の無償化は品質の低下や栄養バランスなどの課題もあるが、家計支援のためにも現状の内容を維持しつつ検討してほしい。

【村中町長】皆さんからの給食費に加えて、町の加算や農協からのご支援で今の水準を維持したいと思いますが、国からの支援が制度化となれば無償化を検討したいと思っています。

【植西委員】ミネラルベース給食の進捗と町内での有機野菜の導入や指定野菜の町内調達についての現状は。

【教育課長】栄養価の分析結果は評価の高い置戸町と同レベルとの結果でした。町内の有機野菜や指定野菜の調達は、生産量なども含め協議、検討が必要です。

【八巻委員】郷土資料館の改修に多額の費用がかかるが、開館日の見直しや説明員の配置なども充実させる必要があるのではないかと。

【教育課長】開館日の増やQRコードによって詳しい説明がスマートフォンに表示される仕組みなどを検討しています。

たが、そういう機会が減り、働き方改革などもあって、今後の人材育成はお知恵をいただきながら進めていきます。職員に対しても良いところを引き出しながら、若い職員から課長職までが一つになって頑張れるようにしていきたいと思えます。

【植西委員】英語教育などは話すことができず、効果的な教育が行われていないと感じている。また、昔から平等であった日本の歴史を伝え、誰ひとり取り残さない義務教育を目指し、日本人が日本人であることに誇りを持てるような教育が必要ではないか。

【北川教育長】現在、英語は「聞く、話す、読む、書く」をバランスよく習得できるように進められています。また、道徳の教科において、伝統と文化の尊重、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心を持つための学習をしており、これらの



比布中央学校「冬イチゴ給食」

【村中町長】建物自体が郷土資料のため、建物も含め大切に保存したいと思えますし、比布の歴史を知ってもらおう事業を行いたいと思えます。

【大熊委員】ふるさと納税を活用して、子どもたちが全国大会に出場する経費を8割補助から全額補助にする考えはないか。

【教育課長】一定程度の保護者の負担は必要と考えています。

【村中町長】ふるさと納税を財源とするにはまだまだ足りない状況です。ので、使途をPRする仕組みなども検討していきます。

▽後期高齢者医療 特別会計

【遠藤委員】保険料が1人あたり5,104円の負担増となったが、安心して医療を受けられるためには、引き上げるべきではないと思えます。

【保健福祉課長】保険料について町単独で抑制することは制度上難しいです。介護予防にも力を入れ、医療・介護連携して取り組んでいきます。

学びから郷土を愛する心や国民としての誇りなどが芽生えるものと思っています。

【植西委員】財政指標の分母となる収入が確保されれば、思い切った施策を実現できる。今後、大型の公共事業で財政圧迫が考えられるが、どのように収入を増やしていくのか考えは。また、近年民間企業において企業同士が結びついて問題解決を行う取り組みがあるが、行政と異業種の共同事業によって解決していく考えは。

【村中町長】財源確保の一つとして、ふるさと納税増加への努力は進めていきたいと考えています。問題解決については、職員の資質を向上させつつ、外部の力も借りながら、比布町に合った施策を実施していきたいと思えます。

【今井委員】現在、くるみ保育園は定員90名に対して64名と聞いてい



郷土資料館

▽介護保険特別会計

【遠藤委員】制度改正によってサロンサポーターの負担増が懸念される。また、「ぴっぷの和」を早く再開してほしい。

【保健福祉課長】負担増とならないように考えていきます。「ぴっぷの和」も早く再開できるよう努めます。

【植西委員】他スキー場では時間券が好評と聞いているが、次シーズンに向けて販売方法の考えは。

【商工観光課長】4時間券がありますが、1日券の販売が好調であるため、長時間滞在してほしい気持ちもあり、変更する予定はありません。

▽簡易水道事業会計

【植西委員】旭川市が公営企業化に伴って水道料金が1.6倍になったが、料金の改定についての考えは。

【建設課長】一般会計からの繰入れがなければ現実的ではない値上げになります。収益的収支、資本的収支の決算状況を見ながら研究していきたいと思えます。

る。認定こども園移行後の経営も厳しいのが予想される中、事業所過多とならないためにも、法人だけに任せるのではなく、園児確保のための施策の展開が必要と思えます。

【村中町長】認定こども園は90名まで入園できる規模を確保して建設され、70名定員でスタートする予定です。こども園への移行と定員の減によって国からの保育単価が上がりやす。園児数の確保については、移住・定住対策としての宅地造成や空き地・空き家対策などを実施し、定員90名への希望を持つて事業に取り組んでいきます。

※総括質疑とは？

議会に提出された議案全般に対し、大綱的な質疑を行うこととす。なお、質疑の回数は3回までとしています。



くるみ保育園「餅つき大会」